

2015年度 事業報告

【事業委員会】

1. オフィシャルスポンサー・各大会協賛スポンサーの募集活動を行いました。
2. 2015 ISA Stand-Up Paddle Surfing Championship(参加大会)へ日本代表チームの参加を支援しました。
期間 2015年5月10日(日)～5月17日(日)
場所 メキシコ サユリタ
3. 第33回全日本級別サーフィン選手権大会(2015)を開催しました。
開催場所：愛知県 田原市 赤羽根大西海岸 他
開催日：2015年5月15日(金)～17日(日)
4. 2015 ISA World Surfing Games (派遣大会)に日本代表チームを派遣しました。
期間 2015年5月31日(日)～6月7日(日)
場所 ニカラグア ポポヨ
5. 第23回ジュニアオープンサーフィン選手権大会(2015)
第12回マスターズオープンサーフィン選手権大会(2015)を開催しました。
開催場所：静岡県 磐田市 豊浜海岸
開催日：2015年6月19日(金)～21日(日)
「磐田市合併10周年記念イベント事業」
6. 第50回全日本サーフィン選手権大会(2015) 50周年記念事業を開催しました。
開催場所：千葉県 いすみ市 太東海岸～長生郡一宮釣ヶ崎(志田下)
開催日：2015年8月25日(火)～30日(日) 予備日31日(月)※トライアル：8月24日(月)
7. NSAサーファーズ ビーチクリーンACT 2015 (全国一斉ビーチクリーン)を実施しました。
日時 2015年9月13日(日)
場所 全国の海岸 120ヶ所以上
8. 2015 VISSLA ISA World Junior Surfing Championship(派遣大会)に日本代表チームを派遣しました。
期間 2015年10月11日(水)～18日(水)
場所 アメリカ カルフォルニア・オーシャンサイド
9. 9th ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2015 を開催しました。
開催場所：宮崎県 日向市 お倉ヶ浜海岸
開催日：2015年10月24日(土)～25日(日)
10. 2015 ISA World Bodyboard Championship(参加大会)へ日本代表チームの参加を支援しました。
期間 2015年12月6日(日)～13日(日)
場所 チリ イキケ
11. 2015年に開催する他の国際大会は、日時が決定次第参加または不参加を判断しました。
12. 主催大会・派遣大会の結果をオフィシャルスポンサーに報告しました。
13. 派遣大会では日本代表チームにユニフォーム、Tシャツ、ポロシャツ、帽子等を支給しました。

14. 大会役員、関係者、公認ジャッジにスタッフアウターを販売しました。
15. 第 50 回全日本サーフィン選手権大会にて、ライブ中継を広報委員会と合同で行いました。
16. NSA 設立 50 周年記念パーティーを全日本選手権大会期間中に行いました。

【広報委員会】

1. 2016 年度会員募集と主催大会スケジュール発表の「サーフィンレビュー」を圧着形式で、2015 年 10 月に全会員へ郵送しました。
 2. 「YEARBOOK」を創設 50 周年記念記事も兼ねて制作し、2015 年 4 月下旬に全会員と公認ジャッジ、公認指導員、協力店、支部長へ送付しました。
 3. サーフィン専門誌サーフィンライフ等に毎月「NSA ニュース」欄等を利用し、NSA の活動を一般に広く知らせる記事を掲載しました。
 4. 全日本・全日本級別選手権大会・ジュニアマスターズオープン・ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 等の大会プログラムと大会ポスター（地域等限定）を作成し配布しました。
 5. NSA のホームページをリニューアルし、オフィシャルサイトと SNS (Facebook 等) の連動を図り、最新情報を配信しました。
 6. NSA オフィシャルサイトに主催大会結果、写真等をアップしました。
 7. NSA オフィシャルサイトに動画「NSA DOGA」で情報を発信しました。
 8. 協力店等に「ルール&マナーブック(各 20 部)」を無料配布しました。
 9. 「ルール&マナーブック」を主催大会 400 部、公認大会 100 部を無料配布しました。
 10. 協力店等にケガ防止、ビーチクリーンのポスターを 2 回無料配布しました。
 11. 春・秋のインタースタイルにブースを出展しました。
 12. 第 50 回全日本サーフィン選手権大会にて、ライブ中継を行いました。
 13. 第 50 回全日本サーフィン選手権大会にて、会場にメモリアルブースを設置し、歴史資料を展示しました。
- ※2. 8. 9. 10 は、スポーツ振興くじの対象事業です。

【ジャッジ委員会】

1. サーフィン検定の開催スケジュールについて管理、調整を行いました。
 - ①検定基準の統一を目的に、必要に応じてマスタージャッジの派遣手配を行いました。
 - ②検定を通して開催地域の A 級ジャッジからマスタージャッジを採用するなど、地域のジャッジ活動を促進しました。
 - ③2015 年度サーフィン検定開催結果一覧
- 実 施 17 会場
受験者数 3250 名 合格者数 885 名
(参考：2014 年度実績 実施 21 会場 受験者数 3989 名 合格者数 1013 名)

会場別内訳)

開催日	会場	主催支部	受験者合計	合格者合計
3月8日	宮崎市 木崎浜	宮崎	130名	41名
3月15日	田原市 赤羽根ロングビーチ	愛知	443名	140名
3月15日	藤沢市 鵜沼海岸	湘南藤沢	中止	
4月5日	京丹後市 八丁浜	京都	中止	
4月5日	南房総市 千倉海岸	東京、千葉南	323名	84名
4月12日	東洋町 生見海岸	徳島	216名	57名
4月19日	志摩市 国府の浜	三重	中止	
4月19日	一宮町 釣ヶ崎海岸(志田下)	千葉東、千葉西	351名	95名
4月26日	静波海岸または御前崎海岸	静岡2区	201名	55名
5月31日	神栖市 波崎海岸	茨城波崎	185名	28名
6月7日	宮崎市 木崎浜	熊本	75名	46名
6月13日	串間市 恋ヶ浦ビーチ	鹿児島	18名	14名
6月28日	日立市 河原子北浜海岸	茨城北	237名	54名
9月6日	仙台市 仙台新港	宮城仙台	172名	36名
9月6日	厚真町浜厚真海岸	北海道	46名	20名
9月27日	磐田市 豊浜海岸	静岡3区	230名	45名
10月4日	藤沢市 鵜沼海岸	湘南藤沢	中止	
10月18日	千葉東エリア	千葉東、千葉西	中止	
11月1日	湯河原市 吉浜海岸	湘南西	中止	
11月22日	南房総市 千倉海岸	東京、千葉南	296名	54名
12月6日	宗像市 江口釣川	福岡	121名	59名
12月13日	浜田市 国府海岸(千畳苑)	島根	51名	17名
12月13日	京丹後市 八丁浜	京都	155名	40名

2. 秋季公認ジャッジ 講習会、ジャッジ資格試験を実施し、公認ジャッジの認定・昇格を審査しました。

日程 … 2015年12月6日(日)

会場 … 仙台 / 東京 / 愛知 / 兵庫 / 宮崎

2015年秋季試験 受験級別試験結果

	受験者数(名)	合格者数(名)	平均点	合格率
A級	37	16	64.63	43.3%
B級	56	34	63.24	60.7%
C級	79	62	62.40	78.5%
D級	217	166	56.17	76.5%

受験者合計：389名(申込者合計：409名)、合格者合計：278名

(参考：2014 年秋季試験)

	受験者数 (名)	合格者数 (名)	平均点	合格率
A 級	38	11	64.63	28.9%
B 級	51	21	63.24	41.2%
C 級	65	33	62.40	50.8%
D 級	161	91	56.17	56.5%

受験者合計：315 名 (申込者合計：317 名)、合格者合計：156 名

2015 年秋季 会場別試験結果 (数値：名)

	A 級		B 級		C 級		D 級	
	受験	合格	受験	合格	受験	合格	受験	合格
仙 台	4	1	7	5	10	9	19	15
東 京	16	5	32	19	33	24	89	67
愛 知	6	3	5	5	16	13	56	40
兵 庫	5	3	2	2	13	11	34	30
宮 崎	6	4	10	3	7	5	19	14

合格点

A 級 80 点 B 級 75 点 C 級 70 点 D 級 65 点

問題別配点 (前年度試験と同じ)

筆記 20 点 集計 10 点 映像 70 点 計 100 点

3. 公認大会にジャッジ派遣の要請があった場合、派遣を行いました。
4. 主催大会の専任ジャッジを選出しました。
5. 国際大会に準じて改定した競技ルールを施行しました。
6. 支部主催で公認したジャッジ講習会へ講師の派遣を行いました。
7. 主催大会において新ジャッジシステム導入を行いました。
8. ジャッジシステム変更に伴うジャッジペーパー、集計用紙、集計ソフト改定を進め周知活動を行いました。

【地域活動委員会】

1. 海上保安庁、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会・(一社)ウォーターリスクマネジメント協会の事業と連携して公認指導員制度の普及・促進を図る為に、講習会を実施し、全国に指導員を配置しました。
2. 公認指導員制度の改定と充実を図りました。
3. 公認指導員講習会を実施しました。
日程 : 2015年3月15日(日)
会場 : 貸会議室内海 4階 受験者数 33名
4. 各地域における情報伝達、意見交換の場として、支部長意見交換会等を実施しました。
5. 全日本サーフィン選手権の開催時に支部長会議を開催しました。
6. NSA公認サーフィンスクールを3ヶ所で行いました。
7. 公的サーフィンスクール(市、教育委員会など)にテキスト、保険提供などを支援しました。
8. サーフィン専門誌及びNSAオフィシャルサイトなどを活用し、公認指導員の公認スクール開催のバックアップ及びスクールの拡充を図りました。

【総務委員会】

1. 正会員及びオープン会員の募集及び登録業務を行いました。
2. 正会員及びオープン会員の更新案内を個人へ発送しました。
3. 正会員及びオープン会員の会員証を個人へ発送しました。
4. 2015年度正会員登録状況を、支部長や各チーム代表者がインターネットで確認できるシステムの運用を行いました。
5. 10月に次年度正会員用登録用紙を各チーム代表者に発送しました。
6. 総会、理事会及び定例会議等の会議を開催し、報告書を作成しました。
7. 会員に対する保険等の対応を行いました。
8. 議案等を作成し、各会議へ提案しました。
9. 事務局の就業規則を適正に管理し、事務局業務の円滑化、効率化を図りました。
10. 個人情報の適正な管理を行いました。
11. 独立行政法人日本スポーツ振興助成センターにスポーツ振興くじ、スポーツ振興基金、開催地の関係機関等に助成申請を行いました。
12. 大会の開催に関し、文部科学省及び海上保安庁等に後援申請を行いました。
13. 他業種との連携を図り、連盟の活性化を検討しました。
14. 社会貢献活動として、NSAサーファーズビーチクリーンACT 2015(全国一斉ビーチクリーン)を実施し、事前にACTフラッグ、ポールを配布しました。
15. UMI協議会のボートショー(2015)に参加し、サーフィンの楽しさを一般の方々に情報発信しました。
16. 各種助成団体の調査及び加盟を図りました。
17. NSAネットショップを設け、NSA関連商品を販売しました。
18. 公益財団法人日本オリンピック委員会へ加盟しました。

【企画専門委員会】

1. 9th ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2015 を国際大会の派遣年齢基準に合わせて実施しました。
2. 主催大会の構成や効率化を検討しました。
3. ポイントランキング制度を改定し、国際派遣選手及びシード選手の選考に活用しました。
4. 全日本サーフィン選手権大会でメンクラス 1 位の選手を世界選手権大会に選抜しました。
5. 公認大会の改定及び管理を行いました。
6. 公認大会のエントリー及びその他詳細について NSA オフィシャルサイトに掲載しました。
7. 公認大会支援事業として、エリアフラッグ、タイムフラッグ、ゼッケン等を貸与しました。

【国際専門委員会】

1. 派遣大会地域の国及び現地情報を把握し、告知しました。
2. 強化合宿を行い世界レベルの選手の育成を検討しました。
3. 世界レベルのジャッジの育成を検討しました。
4. 世界レベルのコーチの育成を検討しました。
5. 国際大会派遣選手の選考及び派遣役員の選出を検討しました。
6. 国際大会の事前交渉等の円滑化を図りました。
7. ISA コーチング講習会を年 1 回実施しました。
8. 強化指定選手制度を設け、強化指定選手(プロアマ問わず)が ISA 大会にて優秀な成績を収めた場合に報奨金を支払いました。
9. ジュニア以下の強化指定選手を対象に強化合宿を行ないました。
10. 強化指定選手には、国際大会の選手参加費軽減、主催大会の参加費免除、強化合宿費のサポートなどを実施しました。